

『迷いの森』 寸評

- ・特徴のあるベースラインが不穏ながら動きのある物語を紡ぐ
- ・m.8-10 のダイナミックな展開がおもしろくできてる
- ・アーティキュレーションが音楽内容を深めている 特にm.1-3
- ・弦楽三重奏をみごとにまとめてきた
- ・タイトルも音楽にふさわしい

完成度をさらに上げるために

- ・m.12-14 拍子をととのえよう (赤参照)
- ・m.11 b.4 Va. の八分休符に *rit.* しつつフェルマータをおきたい
- ・m.12 全パート 区切りからあらたにはじまるので
ダイナミックを振りなおすとしんせつ
- ・m.1 b.4 Va. ここから *mf* を
- ・m.2 b.1 Vn. ここから *mf* を それとも *sf* をつけわすれたか
- ・m.11 b.3 Va. C \flat ではなくB \sharp で書こう
- ・m.10 b.2-3 Vn. スラーにしても
- ・m.15 Va. 三人とも *f* でよい
- ・m.8 b.2-3 Va. 2拍目に四分休符を
- ・発想標語 **Moderato misterioso** とか

m.=measure 小節番号のことです。
b.=beat 拍のことです。

たいへんよくできました。

持摩 勉